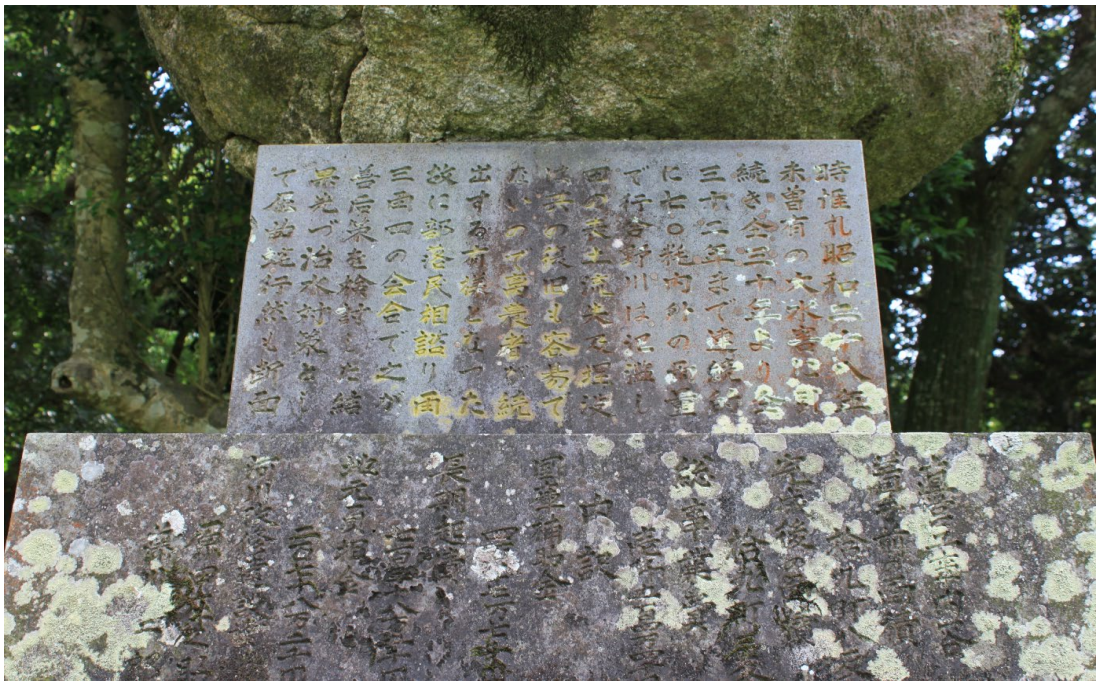
番号	25	土地改良記念碑		
所在地		唐津市北波多行合野		
災害別		昭和２８年（１９５３）　水害		
目的別		記念碑	建立年	昭和３９年５月
特記事項				

徳須恵川と行合野川の合流地点に程近い天満宮の参道に建つ土地改良記念碑。昭和２８年６月２５日～２８日の未曽有の大水害及びその後の水害による農地の被害、その復旧のために行合野川を改修し、併せて区画整理事業を行ったことが記されている。

「時惟れ昭和二十八年未曾有の大水害に引続き仝三十年より三十二年まで連続的に七〇粍内外の雨量で行合野川は氾濫し田の表土流失及埋没は其の復旧も容易ではないので離農者が続出する有様となった　故に部落民相諮り再三再四の会合で之が善后策を検討した結果先づ治水対策として屈曲蛇行然も断面の小さい行合野川を南山麓に移設することに関係者一同の賛同を得たので仝三十二年十月河川改修を国及県に陳情したところ其の着工見通

国土地理院電子国土 Web

しもつかない状態であった為関係者上京し保利茂代議士の絶大なる支持援助を得て仝年度末に二〇一万円の予算を確保直ちに着工した仝三十四年は偶々石炭合理化旋風が吹き始め茲に炭鉱離職者緊就事業が法制化され本地区も此事業が適用され爾来順調に工事は進み其改修延長九八十米総事業費三千八百万円で昭和三十七年九月末日完成した一方河川移設に伴い耕地の区画整理が必然的に起きて来た為昭和三十四年土地改良区を設立委員長を中心に関係農家四三戸一体となり工事に着手し精神物質両面に亘りあらゆる苦難事に耐え忍び遂に昭和三十八年三月完成し美田化したものである」